

令和6年度第1回 城南市民センター運営審議会議事録

日 時 令和6年10月11日(金) 15時00分～16時00分
場 所 福岡市立城南市民センター 3階 第2会議室
委 員 【出席】7名 【欠席】1名
事務局 城南市民センター館長 外3名
指定管理者 3名

傍 聴 人 なし

○ 次 第

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 委員・職員紹介
- 4 委員長、副委員長選出
- 5 議 事
 - (1) 協議・報告事項
 - ① 令和5年度 市民センターの利用状況について
 - ② 令和5年度及び令和6年度指定管理者事業について
 - (2) その他
- 6 閉 会

○ 議事録

(館長挨拶) 略

(委員・職員紹介) 委員、事務局及び指定管理者の順に自己紹介(挨拶については略)

(議 事)

協議・報告事項

- ① 令和5年度 城南市民センターの利用状況について
- ② 城南市民センター 令和5年度及び令和6年度指定管理者事業について
事務局担当者及び指定管理者から説明・報告を行った。

①意見・質問

(委員)利用率としてどのくらいを目指しているのか。

(指定管理者)コロナ前の令和元年度の利用率が52.9%だったので、そこを目指していかないといけないと思っている。

(委員)利用率50%超というのは、新規の利用者が使いやすい状況なのか。新規の団体がなかなか予約を取れないのではないのか。

(指定管理者)公平性を持たせるために抽選としている。ホールは9か月前、会議室は3か月前に抽選を実施しており、以降は随時利用申請ができる。学校など市が認める団体については、1年前からの優先予約が可能。

(委員)学校行事は1年前に次年度の予定を立てるのは難しい。

(指定管理者)土日はすぐ予約が埋まるが、城南市民センターの場合、平日のホールは抽選後も比較的取りやすいと思う。

(委員)空き状況は見られるのか。

(指定管理者)予約システムから見られる。電話で問い合わせてもらってもよい。

(委員)令和6年度は利用率が伸びているとのことだが、要因は何か。

(指定管理者)空き室を自習室として利用しているが、利用者が顕著に伸びている。令和5年度1,136人だったが、6年度上半期で既に1,407人である。

(委員)自習室利用のチラシは小・中学校に配布しているか。

(指定管理者)特に配布していない。利用が増えている要因として、勉強する環境が良いというのが口コミで広がっているようだ。定員30名のところ、空席待ちが発生する場合がある。チラシ配布により利用しにくくなるのではないかと懸念もある。

(委員)他の会議室の活用は考えていないのか。

(指定管理者)9月に空席待ちの状況が見られたので、10月から別の会議室も自習室として開放するようにしている。音漏れがない部屋などの条件はあるが。

(委員)学生は自分たちでここに来るのか。

(指定管理者)そうである。

(委員)どの校区からも来るのか。

(委員)小中高にチラシを配布したらよいと思う。夏休みなどきょうだいがいると家で勉強しにくい。勉強する場が意外と少ない。自習室は子どものために活用されていてとても良いと思うので、広げてほしい。

(委員)小学6年生からとなっているが、小学生は校区外に子どもだけで行ってはいけないのではないか。

(委員)そのとおりである。

(委員)小学生の利用は多いのか。

(指定管理者)小学生の利用はほとんどない。

(委員)利用率について、目標値の52.9%は難しいと思う。施設の古さや駐車場有料化の影響など、外側の制約があると思う。駐車場の有料化はいつからか。

(指定管理者)令和2年5月からである。

(委員)無料に戻してもらえたら利用が増えると思うが、難しいのだろう。

②意見・質問

(委員)令和6年度は、人権事業を増やしたのか。

(指定管理者)現在、人権事業を年2回以上、生涯学習事業を年1回以上実施することとなっているが、令和6年度はホールが改修のため休止しており、ホールで実施していた文化振興事業を減らして人権事業を増やした。区、福岡大学、人尊協などで立ち上げた企画会議で検討し、会議室で開催するため、より身近に感じてもらえるような内容の講座とした。

(委員)資料を見て、私がイメージする人権事業とは違う内容と感じた。

(指定管理者)人権のテーマは幅広く、企画会議で協議しながら、助言をいただきながらテーマを決定している。

- (委員)自習室の定員は30人とのことだったが、中学生に呼び掛けてよいかどうか。
- (指定管理者)利用しているうち、中学生は近隣の中学校の生徒がほとんどだが、片江中の生徒の利用もある。
- (委員)音楽の催し物について、中学校の吹奏楽部には弦楽器がないため、弦楽器以外の催ししてもらえると中学生にも参加を勧めやすい。企画の時に検討いただければありがたい。
- (委員)文化振興事業が減っているが、博多人形の体験は興味深く参加してみたいと思った。先ほど、自習室の環境が良いとの話があったが、具体的にどうか。
- (指定管理者)実際に意見を聞いたわけではないが、他のセンター等と比較して考えると、対象を高校生まだと限定している点、時間制限がない点、1テーブルに1人としている点などと推察している。
- (委員)催し物は平日が多く参加しにくい。一つくらい土日で開催していただくとありがたい。令和6年度事業「シニア健康教室」は定員60人とのことだが、申込みが多い場合は抽選になるのか。
- (指定管理者)11月から募集開始するが、事前申込制で、先着順で考えている。
- (委員)九響のコンサートの申込み方法はどうか。
- (指定管理者)令和6年1月末の九響コンサートは先着順、事前申込みとしたので、今回もそのように考えている。
- (委員)催し物について、知っている人は知っているが、知らない人も多いのでは。人権事業については区を通してお知らせができるが、音楽の催しなどについては、子どもたちに知ってもらえるよう広報するとよいと思う。
- (委員)平日だと参加できる層が限られている。全てではなくても、平日夜間の開催を検討いただけないか。私自身は立場上、不登校、虐待、発達障がいについて学ぶ機会が多いが、保護者への知識の伝達が課題。家族、保護者、祖父母など揃って聞ける機会があるといい。
- (委員)他市民センターで平日夜間の開催など事例があるか。
- (事務局)事例はあまりないと把握している。小さな子どもがいる方は、子どもが保育園や学校にいる時間に開催してもらえないと行けないなど、ニーズは様々である。子どもの年齢によっても異なる。どの時間に設定しても、皆さんが行けるといのはなかなか難しいが、対象者ができるだけ参加しやすくなるよう努めたい。
- (委員)確かに父親に聞いてほしいテーマもある。他の事業で、子どもの貧困をテーマにした講座を連続4回で実施したが、70人参加された回もあった。ニーズはあると思う。ただ、19時からの開催としても、「仕事を休んできた」という方がいた。
- (委員)全体として、充実した取組みをされている。中村学園大学との市民カレッジの6月の人権講座も非常に魅力的である。チラシについて、裏面に関連しそうな事業の情報を付けるなど工夫されるとよいと思う。

事務連絡として、第2回運営審議会の開催日程について、令和7年2月～3月頃を予定していることを事務局から説明。

以上